



おおぞら

ぎがい

大空町議会だより 第18号
2010(平成22)年11月30日発行

11

2010



●10月9日、地域商店街活性化プロジェクトとして、東藻琴地区の旧やまがみ商店店舗を利用した東藻琴高校主催の『交流プラザ（東高マルシェ）』が開催され、多くの方々で賑わいました。

決算審査特別委員会(決算審議) … P2～7
 財政健全化・経営健全化診査意見 … P8
 定例会の議案と質疑 … P9～11
 町政を問う(一般質問4名) … P12～17
 議会・委員会活動レポート … P18
 産業建設常任委員会道外行政視察報告 … P19～20

総務文教厚生常任委員会道外行政視察報告 … P20～21
 臨時会の議案と質疑 … P22
 要望意見書 … P23
 編集後記 … P23
 議会日誌 … P24
 有料広告(たまや菓子店) … P24

されたか？ その行政効果は？

特別委員会」に付託して審査、検証～

一般会計+9特別会計歳出総額

億2,627万円

の主なつかいみち

子どもから大人まで、積極的に
学び合える環境を ～教育関係～

- 女満別小学校の改築 1億4,900万円
- 幼稚園、小・中・高校の情報通信技術環境の整備
(デジタルテレビ、電子黒板などの導入) 3,300万円
- 遠距離通園・通学児童生徒のためのスクールバス運行 6,700万円
- 幼稚園の管理運営費など 4,900万円
- 体育施設の改修(ゲートボールセンター、野球場) 6,600万円

9月16日・17日2日間の会期で、平成22年第3回大空町議会定例会が開催されました。

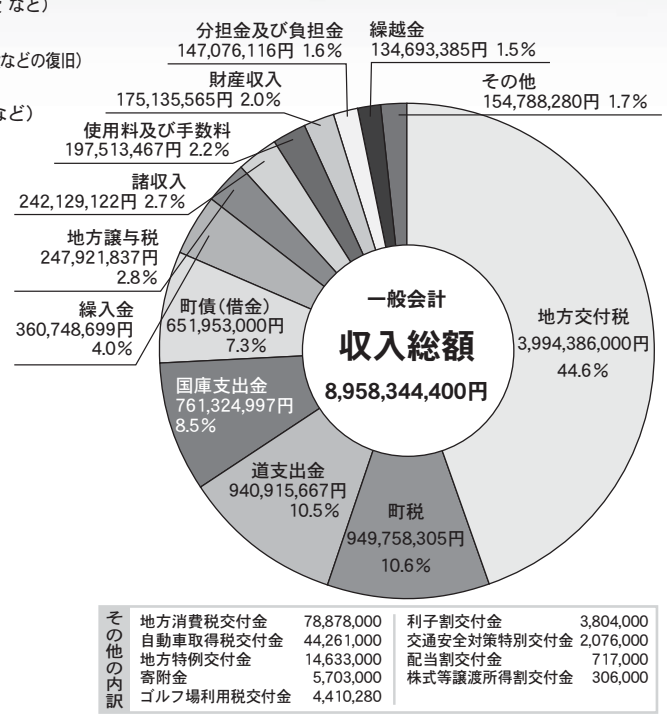
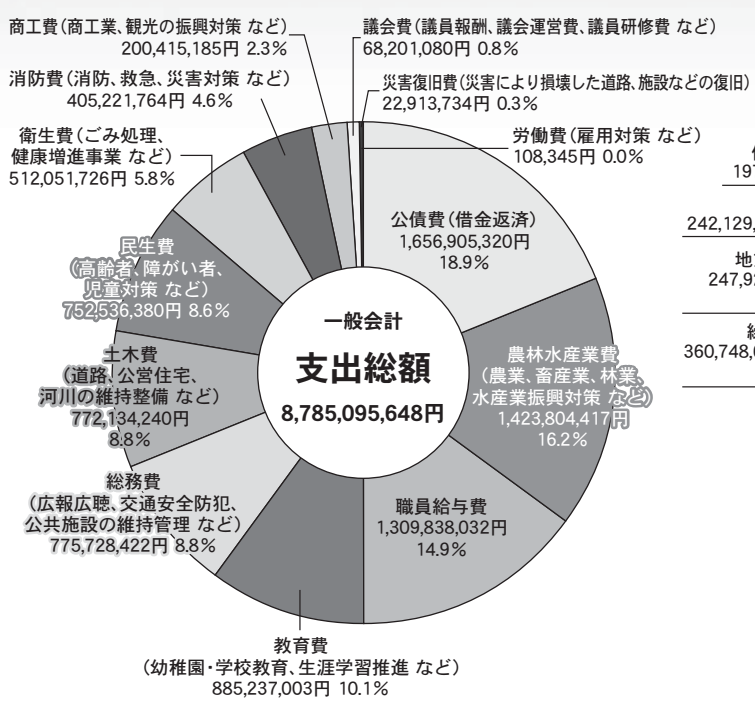
本定例会では、平成21年度の一般・9特別会計の歳入歳出決算、条例の制定(一部改正)、補正予算、議会側案件などが提出されました。

平成21年度各会計歳入歳出決算については、議長及び議会選出監査委員を除いた10人の委員で構成する『決算審査特別委員会(委員長 近藤哲雄議員)』が設置され、これに付託して議会閉会中に継続して審査することとされました。

まちづくりに欠かせない情報共有
～住民主体のまちづくりを推進～

- 広報広聴事業(広報誌の発行、ふれあい意見箱、ふれあいトークの実施)
 - 自治基本条例(仮称)検討委員会の開催
 - 女満別・東藻琴地域審議会の開催
 - 各自治会の育成と活動の推進
- 1,800万円

平成21年度一般会計歳入歳出決算状況



平成21年度予算は適正に執行

～各会計歳入歳出決算を「決算審査

117

平成22年10月22日(金)に決算審査特別委員会が開催され、平成21年度の各会計歳入歳出決算、財産の状況及び主要な事業や監査委員の決算審査意見などの説明を受け、その内容について慎重に審査・検証を行いました。

特別委員会での審査結果については、一般会計及び9特別会計の決算を認定することに、全委員が賛成しました。

※ 委員会での審査結果であり、議会としての決定(認定)は、決算審査特別委員会からの報告を受け、本会議の場で採決されることとなります。

町民ひとりひとりが健康で安全に、安心して暮らせるように ～保健・医療・福祉・生活環境～

- 障害者への福祉サービスなど 1億1,800万円
- 児童手当の給付 5,700万円
- 豊住・東藻琴両保育園の整備及び維持管理 7,100万円
- 町民の健康保持増進のための検診予防事業 3,130万円
- 東藻琴国民健康保険診療所の管理運営 1億6,200万円
- 居宅・施設介護サービスなど 4億3,300万円
- 〇ごみ、し尿、資源物の処理 2億 300万円
- 〇町道の整備・維持補修 1億9,200万円

地域の特性・資源を生かし、将来にわたり豊かで魅力あるまちづくりをめざして ～産業の振興～

- JAめまんべつの麦類乾燥調製貯蔵施設整備補助 9億1,900万円
- 共同利用する機械を購入する営農団体への補助 5,200万円
- 北海道が主体として実施する農地改良などの事業 1億9,600万円
- 民有林整備の補助 2,200万円
- 商工会の運営補助 2,700万円
- 藻琴山芝桜公園の整備 9,100万円
- 観光拠点施設(愛称:メルヘンぴっと)整備 2,300万円

平成21年度大空町一般会計・9特別会計歳入歳出決算額及び決算審査特別委員会の審査(認定)状況

会計名	21年度歳入(A) (対20年度増減)	20年度歳入額	21年度歳出(B) (対20年度増減)	20年度歳入額	21年度収支差額 [(A)-(B)]	審査状況	
一般会計	89億5,834万円 (+18.19%)	75億7,970万円	87億8,510万円 (+18.00%)	74億4,501万円	1億7,324万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億7,644万円 (△4.60%)	12億3,311万円	11億5,944万円 (△4.02%)	12億 799万円	1,700万円	全員賛成
	国民健康保険直営診療施設勘定	1億6,207万円 (△3.36%)	1億6,771万円	1億6,207万円 (△1.19%)	1億6,403万円	0万円	全員賛成
	老人保健	1,495万円 (△91.17%)	1億6,931万円	1,453万円 (△90.62%)	1億5,490万円	42万円	全員賛成
	後期高齢者医療	8,610万円 (+4.58%)	8,233万円	8,572万円 (+4.21%)	8,226万円	38万円	全員賛成
	介護保険事業勘定	5億7,503万円 (+8.10%)	5億3,196万円	5億6,723万円 (+8.46%)	5億2,299万円	780万円	全員賛成
	介護サービス事業勘定	746万円 (△53.80%)	1,615万円	715万円 (△54.78%)	1,581万円	31万円	全員賛成
	簡易水道事業	4億8,523万円 (△26.11%)	6億5,665万円	4億8,114万円 (△26.18%)	6億5,174万円	409万円	全員賛成
	下水道事業	4億4,871万円 (+22.57%)	3億6,607万円	4億3,798万円 (+23.12%)	3億5,572万円	1,073万円	全員賛成
	個別排水処理事業	2,696万円 (+2.74%)	2,624万円	2,591万円 (+1.77%)	2,546万円	105万円	全員賛成
合計	119億4,129万円 (+10.27%)	108億2,923万円	117億2,627万円 (+10.36%)	106億2,591万円	2億1,502万円		

※万円以下、小数点第二位未満を四捨五入している関係上、計数に合致しない箇所があります。

決算審査特別委員会(決算審議)

●平成22年第3回定例会において、『決算審査特別委員会』に付託された平成21年度の一般会計及び9特別会計の歳入歳出決算に関する審査概要等は次のとおりです。
※質疑の詳細等は、議会ホームページまたは両地区図書館に備え付けの「会議録」を御覧ください。

将来を展望した計画的な行財政運営体制の

推進による健全財政の維持を!

リーマンショックに端を発した世界的な景気低迷が続く中、国内では都市部を中心に一部景気の回復基調が見られますが、地方では依然として厳しい経済状況にあります。
本町においては、前年度と比較すると町税収入額、基金(町の貯金)残高に改善の兆しが見受け

られますが、現在の低迷した景気、人口の動向や国の経済対策という措置を考えると、今後の大幅な収入増は見込めないと推察されることから、計画的な行財政運営を行うことで、健全な財政運営を推進、維持していくことが期待されます。

監査委員の決算審査意見書(要約)



佐々木代表監査委員

審査結果

審査に付された平成21年度の各会計歳入歳出決算書に記載された計数及び各調書等が関係法令に準拠して作成、適正に処理され、目的に沿った予算の使われ方がされたか審

査・照合した結果、「誤りのないもの」と認められた。しかし、一部外郭団体の経理において不適切な処理が見られ、今後このようなことが二度と起こらないよう適切な事務体制を整え、町民の信頼回復に一層の努力を望む。
一般会計と9特別会計とを合わせた歳入歳出決算状況を見ると、歳入が119億4,129万円、歳出が117億2,627万円で収支は黒字となっている。

一般会計の財政構造は、經常収支比率(※1)が87.3%と、前年度(90.8%)と比べ減少しているが割合としては依然高く、財政が硬直化していることを示している。財政力指数(※2)は0.264(前年度0.276)とほぼ横ばいで推移、公債費比率(※3)は18.4%(前年度20.0%)と減少している。

歳入構成では、自主財源(※4)の割合が前年度から2.0ポイント減少し24.7%、歳出構成では義務的経費(※5)の割合が前年度より7.5ポイント減少した37.6%、投資的経費(※5)の割合が前年度より14.6ポイント上昇した25.1%となっている。これは、計画的な町債(借金)の償還と国の経済対策によって投資的事業の推進が図られたことが主な要因と推測されるが、厳しい財政環境の中で積極的に事業推進されたことを示している。
町税全体の収納率は前年度から0.3ポイント低下した95.1%であり、未収額は376万円増加している。滞納を増やさないため、未納者に対するより一層のきめ細かな

表彰

議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興に寄与されました田中勝吉議員(副議長)、森田暢明前議員、森進前議員、元木良一前議員が、自治貢献賞を受賞されました。おめでとうございます。



祝 大空町表彰式

対応が求められる。

町税の滞納と同時に公営住宅・上下水道使用料などの公共料金も滞納している例が見受けられることから、連帯保証人への法的責任徹底や未納通知などの取組を強化し、特に悪質と判断される滞納者には上水道給水停止、公営住宅強制退去、差押えなどの法的手段を含めた厳正な対応を検討するなど、各課が連携して滞納金額の圧縮、新たな滞納発生の防止に努力が望まれる。また、滞納者で差押え可能な財産がない、他市町村への転出、本人が死亡しているなど、有効な徴収手段がとれない者については、不納欠損処分(※6)の検討も必要である。

経常収支比率の推移、町税収入や基金(町の貯金)残高に改善の兆しが見込まれる状況をふまえ、より一層の効率的な経費負担を図るとともに町民ニーズの緊急度を的確に把握し、行政の簡素化・効率化に努め、将来を展望した計画的な行財政運営の推進によって、健全な財政運営を維持することが必要と考える。

平成21年度末基金(町の貯金)及び町債(町の借金)残高

	21年度末 (町民一人当たりの額)	20年度末 (町民一人当たりの額)	対前年度増減額 (増減比率)
基金 (町の貯金)	24億8,615万円 (約30万円/人)	26億6,389万円 (約32万円/人)	△1億7,774万円 (△6.67%)
町債 (町の借金)	125億5,598万円 (約153万円/人)	133億3,244万円 (約159万円/人)	△7億7,646万円 (△5.82%)

※注1 基金額(貯金)については運用基金である奨学基金を除いた額、町債(借金)については一般会計分の額です。

※注2 町民1人当たりの額は、各年度の3月末現在人口を基に算出しました。

決算審査特別委員会審議や、決算審査意見書などに出された財政用語などの解説です

※1 ◆経常収支比率(けいじょうしゅうしひりつ)

町税や地方交付税など、**毎年度きまって収入され、使いみちが特定されていない『一般財源』**から、職員の給与や町の借金返済など、毎年度きまって支出される経費にどれくらい使われているかを示す割合で、町村では70%程度が望ましいとされています。

※2 ◆財政力指数(ざいせいりょくしすう)

普通地方交付税の算定基礎である『基準財政収入額』を同『基準財政需要額』で割り、算定された数値の3カ年平均値で、『1』に近いほどよいとされています。

※3 ◆公債費比率(こうさいひひりつ)

町の借金返済に使われた『一般財源』の額が、『標準財政規模』に対してどのくらいを示す割合で、10%未満が望ましい比率とされています。

※4 ◆自主財源(じしゅざいげん)

町が自主的に収入できる、町税や町施設などの使用料、住民票発行の際などにいただく手数料などがこれに当たります。⇔ **依存財源**(いぞんざいげん)：国や北海道などから交付される、地方交付税や国・北海道からの補助交付金などがこれに当たります。平成21年度決算では、一般会計歳入総額の24.7%が自主財源、75.3%が依存財源になります。

※5 ◆義務的経費(ぎむてきけいひ)と投資的経費(とうしてきけいひ)

職員給与や借金返済など、収入状況にかかわらず支出しなければならない経費を『義務的経費』といい、当該経費が多くなると新たな行政需要に対応しにくく、弾力的な財政運営が難しくなるとされています。

『投資的経費』は、道路、公園や学校など各種施設の整備など、支出の効果が比較的長期にわたる社会資本の形成に要する経費をいいます。

※6 ◆不納欠損処分(ふのうけっそんしょぶん)

町税や上下水道料、公営住宅使用料などの納入義務者から事情により徴収が行えず、今後も徴収できる見込みがないため、その徴収をあきらめることをいいます。

一般会計 歳入

●寄附金 (570万円)

●**植田委員** 寄付金が予算額の倍近い伸びになっているが、内容は。

●**総務課長** 年度末に二つの法人から計300万円の寄附があり、予算補正が間に合わなかった。総額内訳は、個人20件から260万円、団体3件から310万円、合わせて570万円である。

一般会計 歳出

●見守りネット事業 (437万円)

●**斎藤委員** かなりの回数で訪問し、東藻琴では血圧測定などもやってきたよつだが、同じ人を周期的に訪問し、単純に確認するだけなのか。内容をお聞かせ願う。

●**福祉課長** 女満別地区701名、東藻琴地区286名の方が対象で、单身・夫婦の老人世帯を中心に選定し、一昨

で実施している。訪問回数は、女満別地区が2,550回、東藻琴地区が1,615回という状況で、世帯の状況によって訪問回数が違う。現況をお聞きするということ、血圧測定だとか、そこまでのことは実施していない。



●地籍管理費 (1,119万円)

●**斎藤委員** 内容をお聞かせ願う。

●**総務課長** GISの地図情報の女満別・東藻琴統合の関係、地籍データの管理、土地分筆関係の地籍図修正の関係である。

●高校通学対策助成金 (284万円)

●**斎藤委員** 網走東学区へ

の通学が対象であるが、東藻琴から北見に通う生徒もいる。その辺をお考えは。

●**町長** 通学の範囲として大空町においては網走東学区が第一義的な学区に設定されており、そこを対象に補助させていただいている。

●社会福祉協議会補助金 (2,336万円)

●**松田委員** 社会福祉協議会補助金を精査した中で、208万円の不用額が出たと理解しているが、予期しない、突発的な途中退職や、事業の節約・工夫で不用額が生じると理解しているのか。

●福祉課長

社会福祉協議会の人件費や事業等への助成をしており、年度途中で職員1名が退職したことや、事業で要しなかった経費、それらを年度末に精算調整した結果生じたものである。人件費部分は、突発的な退職で補正する余裕がなく、精算処理している。

●労働対策事業(11万円)

●**松田委員** 労働対策事業の効果と、大空町として何名の方が携わっているのか。

●**産業課長** 網走地方職業病防止対策連絡協議会、美幌職業訓練協会、斜網地域通年雇用促進協議会への負担金であり、それぞれの組織で事業展開している。21年度であるが、大空町から美幌職業訓練協会造園科に2名参加、斜網地域通年雇用促進協議会に6名が登録しており、それぞれ効果はできていると判断している。

●**子育て支援ネットワーク充実事業(366万円)**

●**松田委員** 事業効果と今後の考え方を、具体的に説明願う。



●**社会教育課長** 教育相談員と家庭教育相談員を1名ずつ配置し、家庭教育相談事業については、今までの待機型支援から行動型というところで出向いて相談に乗り、多くの保護者に子育てで支援できるような形になっており、少しずつ効果があらわれていると感じている。

●**農畜産物販路拡大事業 (426万円)**

●**勝田委員** アンテナショップ利用率と、農家が持ち込んだ野菜などの取り扱い、そして農業生産者や店、稲城市民が喜んでいるのか、それらを含め万全な体制をとっているのか。

●**産業課長** 全体販売の36%が、生産者から送ったものであり、大空町の農産物は新鮮だということ、固定客がつきつつある。商品が欠かすことなく販売することで、地元の信用を得られるのではないかと。まだまだPR不足と言われており、大空町の農産物ということ

でPRしなければならぬ。



●道の駅振興事業 (374万円)

●**小島委員** 事業の本身と進め方、成果についてお尋ねしたい。

●**東藻琴総合支所長** 東藻琴地区道の駅の計画を具体的に進めるため、話し合いのたたき台として基本構想を作成した。基本計画ということで、住民の皆さんに参加いただき、構想をたたき台にしながら作業を進めている。

●学校支援地域本部事業 (152万円)

●**小島委員** 事業の本身と進め方、成果について

お尋ねしたい。
社会教育課長 学校と地域を結びパイプ役として、1名コーディネーターを雇用しており、工場見学など多種の事業を学校授業で取り組む形で、日程調整などを行っている。



●**伝承館管理費**

(250万円)

小島委員 清掃管理と説明を受け、光熱水費などは各団体からいただいているとのことだが、社会福祉協議会からはいただいていないのか。以前から問題提起しており、その辺の整理がどのようになっているか。
社会教育課長 利用して



いる3団体から使用料を徴収しているが、社会福祉協議会からはいただいていない。管理体制など、調整をとりながら前向きに進めていきたい。

●**介護保険事業
勘定特別会計**

●**居宅介護福祉用具購入費**

(53万円)

植田委員 購入費というと、全額負担とも解釈されるが、それでよいのか。
福祉課参事 9割が保険で、1割が自己負担になる。

●**監査委員の
決算審査意見書**

小島委員 一部外郭団体の経理に不適切処理が見られたと示されているが、監査で見つけたのではなく、本人から自発的になんか格好になっている。監査するに当たり、監査委員として何らかの対応ができなかつたのか。
代表監査委員 当該外郭団体については、監査対象としていなかつた。

●**総括**

(決算関連全般)

●**行政コスト計算書**

(決算資料関係)

品田委員 企業でいうと損益計算書に当たり、収入もわからなければならぬが、その欄がない。どのように解釈してよいのか。
総務課長 国が示した様式で作成しており、収入が上乗せにならないものである。委員が求める行政コストが民間レベルに達していない。

●**バランスシート**

(決算資料関係)

品田委員 一般財源等の増減を見るのにいちばん簡単なのは、バランスシートである。財政のいいところでは、毎年対比をして、相関関係をともに財政運営をしていることは事実なので、どんな方法でも探してみたい。

●**総務課長**

国のバランスシートは、トータルの資産形成がどうなっているか、余り示されていないか。どこまで見直されるかわからないが、より精度の高いものが出てくるので、それらを参考に財政運営をしていきたい。

●**キャッシュフローについて**

(決算資料関係)

品田委員 資金収支計画をキャッシュフローというが、去年と比べた増減と、どこを確認すればよいのか。キャッシュフローに基づき数字を把握しての予算編成、決算結果を待つことが大事である。

総務課長 必要があれば

提示したいと思うが、今回示した資料では読み取れない。

●**不用額の扱い方について**

勝田委員 教育委員会の一件で、補助金の中で流用し、不足分を補ったことがあり、同じ補助金でも片や社会福祉協議会では余ったのでお返しすると、不用額の扱い方が全く違うのではないかと思うが、町はこれからどうするのか。

●**副町長**

余剰金が出た場合、その分を次年度補助金から差し引いて交付するやり方と、精算し、返還していただくやり方がある。事業間については変更申請の上、増減するものもある。もう一度基本的ルールを定め、統一した扱いにしていきたい。

●**建物貸付収入について**

(教員住宅)

勝田委員 家賃収入未済が15万円ほどあるが、理由は何か。
学校管理課長 一般の方へ一時的に貸している住宅使用料の滞納額で

ある。9月末には滞納額が12万円と、小額ではあるがその改善に努めている。

●**余剰金の考え方**

深川委員 事業執行において経費削減の努力をし、生じた余剰金についての考え方は。
副町長 当初予算については見積もりであり、その中で節約し、コストを下げた効率よく事業ができるかを考えながら進めているつもりである。足りないところは、いろいろ知恵を出し合い、常に効率のよい予算執行を検討していきたい。

●**公共施設に事務所を置く
法人登記の関係性**

小島委員 登記されていない公共施設に事務所を置く団体・法人が、登記するに当たって主たる事務所をその公共施設にする場合の関係性の研究、交通整理はされているか。
副町長 現況そういった検討、交通整理はされていない。

●9月定例会の議案と質疑●

●平成22年第3回定例町議会は、9月16日から17日の2日間の会期で開かれ、以下の町提出案件・議員提出案件などが決まりました。

標準財政規模とは？

標準財政規模とは、町税や地方交付税など、町が一定して収入できると想定される額をいいます。

監査委員の審査意見を付して町長から報告がされた平成21年度決算に基づく「健全化判断比率」及び「資金不足比率」について、議会で監査委員から説明があり、いずれの算定数値、算定基礎事項などは適正で比率も健全化判断基準値等を下回っており、特に指摘すべき事項はない旨報告を受けました。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定される健全化判断比率

①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
— (14.85%)	— (19.85%)	21.4% (25.0%)	89.8% (350.0%)

※比率上段は大空町の算定数値、下段()内は早期健全化基準値

- ①**実質赤字比率**：一般会計の赤字の額が、町の標準財政規模に対してどれだけあったかを表す比率です。大空町は、収入額が支出額より多く黒字であったため、該当しません。
- ②**連結実質赤字比率**：町が設置している全会計（一般会計+9特別会計の10会計）で、赤字がどれだけあったかを表す比率です。大空町は、収入額が支出額より多く黒字であったため、該当しません。
- ③**実質公債費比率**：収入のうち、借金返済に充てた額が標準財政規模に対してどれだけあったかを表す比率です。
平成20年度決算に基づく数値は23.4%で、平成21年度決算に基づく数値は前年度から△2.0%の21.4%となりましたが以前高い水準にあります。今後、徐々に改善していく見込みとのことですが、より慎重な財政運営の対応が望まれます。
- ④**将来負担比率**：借金の返済額など、将来支払いが見込まれる額が、町の標準財政規模に対してどれだけあるかを表す比率です。
平成20年度決算に基づく数値は117.3%で、平成21年度決算に基づく数値は、高金利の借金返済などにより前年度から△27.5%の89.8%となり、大きく改善されました。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定される資金不足比率

特別会計名称	⑤資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	20.00%
個別排水処理事業特別会計	—	20.00%

- ⑤**資金不足比率**：「地方公営企業法」の適用を受ける事業もしくは条例により同法の規定を適用させて町が運営する事業会計について、赤字がどれだけあったかを表す比率です。
大空町においては、簡易水道・下水道・個別排水処理の3会計が算定対象になりますが、各会計ともに収入額が支出額より多く黒字のため、該当しません。

◆「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく審査報告

健全化判断比率・資金不足比率とともに
それぞれ基準値を下回る

一回メモ



過疎地域自立促進特別措置法とは？

- ◆人口の大幅な減少による地域活力が低下し、ほかに比べて生活環境の整備などが遅れていると認められる地域などへ総合的・計画的な対策を講じて自立促進を図り、住民福祉向上、雇用増大、地域格差の是正などに寄与することを目的としています。
- ◆「過疎地域」は、人口要件(例:昭和35年から平成7年までの人口減少率が35%以上)と財政力要件(例:財政力指数が0.42以下で、かつ公営競技(地方自治体が運営主体である競馬、競輪など)収益が13億円以下であること)に該当する地域になります。
- ◆過疎地域自立促進市町村計画に基づき実施する事業に対して、「過疎対策事業債」という借金ができます。この借金は、利子を含む毎年の返済額の7割が地方交付税額に算入されることになります。

定例会の議案と質疑

平成21年度各会計歳入歳出決算の提案や健全化判断比率等の報告のほか、次のような案件が提出され、議決されました。

【大空町過疎地域自立促進市町村計画策定】

国の法律「過疎地域自立促進特別措置法」が一部改正され、同法が効力を失う期限が平成28年3月31日まで延長されたことから、同法に規定される「過疎地域自立促進市

町村計画」を策定することについて可決しました。

本計画に基づく合理的・効率的な事業実施などによる大空町の「地域力」向上が期待されます。
【被害者へ十分配慮した対応を】

何らかの犯罪に巻き込まれてしまい、身体的・精神的苦痛を受けた方へ、国や北海道など関係機関と連携しながらケアをしていくため、「大空町生活安全条例」に犯罪被害者支援に関する規定を盛り込むこととされました。

り込むこととされました。犯罪のない安全・安心な地域社会の実現は町民の願いであり、万が一のことがあった場合の十分な対応が望まれます。

質疑と答弁

小島議員 町の体制をどうするか、具体的な詰めを今後望みたいが、町長のお考えは。

町長 条例改正の検討をする中で、犯罪被害者の支援を町として行っていくという考えを、本条例の改正で位置づけた。ほかの市町村の事例では、見舞金の支給など具体的な部分は別に条例で定めているところが多く、今後しっかりと議論していきたいと考えている。

【平成22年度大空町一般会計補正予算】

歳入・歳出に3億8,887万円を追加し、総額が85億3,263万円となりました。

▼歳入の主なもの

地方交付税 3億5,115万円
安全・安心な学校づく

り交付金 3,499万円
前年度繰越金 1億746万円

女満別小学校整備事業債 △3,500万円
臨時財政対策債 △7,638万円

▼歳入の主なもの

財政調整基金積立金 3億9,718万円
国税連携システム改修業務委託料 158万円
国税連携サービス導入委託料 137万円

グループホームスプリングラー設備整備事業補助金 258万円
グループホーム防火設備整備事業補助金 100万円
簡易水道事業特別会計繰入金 145万円
住宅用太陽光発電システム導入費補助金 100万円

下水道事業特別会計繰入金 △572万円

網走地区消防組合大空消防署費負担金 △669万円

女満別小学校管理備品(机、椅子) 350万円
職員給与費

△1,297万円

質疑と答弁

●グループホームスプリングラー整備事業補助金 (258万円)

小島議員 グループホームのスプリングラー整備の大きな金額が出ていますが、具体的な設置場所はどこか。

福祉課参事 平成18年に長崎県でグループホームの火災が発生し、消防法令が改正され、面積区分によりスプリングラーの設置が義務づけられた。東藻琴と女満別のそれぞれに1カ所ずつグループホームがあるが、東藻琴は設置の例外規定に該当することから対象外、女満別が対象になる。



大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向や議事の日程のほか、議決結果や会議録なども随時更新のうえ掲載していますので、是非御覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>からアクセス

大空町議会ホームページ



平成22年4月27日撮影

●農業振興センター管理費・農産加工用備品 (45万円)

小島議員 利用頻度が多いと摩耗は起きるが、簡単には壊れない。軸の損傷が起きるといのは、はっきり言うことは事故である。今後の課題も含めて、考え方を答え願う。

産業建設課長 使い方法など詳細を点検し、誤用されていけば指導させていただきます。危険のないような形で対応したい。

●自治基本条例検討委員料 (38万円)

品田議員 自治基本条例検討委員会の講師に関する委託料なのか、それと、その講師に対する自治基本条例検討委員会での検討内容はどのように引き継ぎされたのか。

2年余り検討してきたが、ほかの部会の内容が聞こえてこないということが一番大事だと言ってきた。同じような形にならないよう気をつけていただきた

い。題材が難しい内容で、参加人数もどんどん減ってくる中で効率性を考えたとき、しっかりとした事務局体制をとってもらいたい。

総務課参事 NPO法人公共政策研究所からのアドバイザリーに関する委託料である。

引き継ぎという部分では、資料の行き違いなど委員各位に御迷惑をおかけした点もあった。今後は過去の資料なども再点検し、新たな形で進めていきたい。

副町長 新たな体制というところで、アドバイザリー料を予算化した。今までの経過を踏襲することを考えていたが、これまでの議論が全

てなにかつた点はおわびする。今あるたたき台の問題点など、第三者的な立場からみていただき、意見をまとめていきたい。

3部会の情報共有がされていないかという点では、全体がわからなければ個々の議論も

難しく、アドバイザリーから説明を受け、統一した意見の中で共通の認識をしていただくことに意を払いたい。

【平成22年度大空町国民健康保険事業特別会計補正予算】

歳入・歳出に3,364万円を追加し、総額が12億4,348万円となりました。

▼歳入の主なもの
普通調整交付金
△1,090万円

療養給付費交付金過年度分 4,280万円
国民健康保険基金繰入金 △1,525万円

前年度繰越金 1,699万円
前年度国庫支出金返還金 3,085万円

▼歳出の主なもの
前年度国庫支出金返還金 3,085万円

【平成22年度大空町老人保健特別会計補正予算】

歳入・歳出に42万円を追加し、総額が57万円となりました

【平成22年度大空町介護保険事業勘定特別会計補正予算】

歳入・歳出に938万円を追加し、総額が6億

980万円となりました

▼歳入の主なもの
過年度分介護給付費交付金 154万円
前年度繰越金 780万円

▼歳出の主なもの
前年度一般会計繰入金返還金 277万円
前年度介護給付費負担金返還金 654万円

【平成22年度大空町簡易水道事業特別会計補正予算】

歳入・歳出に553万円を追加し、総額が4億5,833万円となりました。

▼歳入の主なもの
一般会計繰入金 145万円
前年度繰越金 408万円

▼歳出の主なもの
簡易水道施設修繕料 600万円

【平成22年度大空町下水道事業特別会計補正予算】

歳入・歳出に140万円を追加し、総額が3億8,444万円となりました。

▼歳入の主なもの
一般会計繰入金 △572万円

前年度繰越金 572万円
下水道事業債 140万円

▼歳出の主なもの
雨水管渠布設工事 △770万円
改築更新工事 910万円

【専決処分の報告】
町有車両に起因して発生した物損事故に対する和解及び損害賠償額を定めることについて了承しました。

【平成21年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は事務管理及び執行の状況を毎年点検・評価し、その結果報告書を議会へ提出し、公表することが義務づけられており、同法に基づいて提出された平成21年度の報告内容について、了承しました。

【専決処分の報告】
町有車両に起因して発生した物損事故に対する和解及び損害賠償額を定めることについて了承しました。

議 会 中 継 の お 知 ら せ



●「東藻琴総合支所ロビー」及び「老人福祉センターフロックスロビー」のテレビを通じて、議会本会議の様子を御覧にすることができますので、議会中継を是非御覧ください。

質疑と答弁

小島議員 大空町学校評
議員会議の活動評価と、
伝承館管理運営事業の
位置づけ、現在の状態
ではいいと思えないと
いう指摘を続けてきた。
その評価についてお教
えいただきたい。

学校管理課長 大空町学
校評議員会議は、それ
ぞれ各校に設置しなが
ら、年2回程度開催し
ている。

社会教育課長 伝承館管
理の御質問であるが、
過去の経過等を調べ、
どのような管理が適正
か多少検討しつつあっ
たが、その後作業が進
んでいない。どのよう
な形がいいのか、今後
詰めていきたい。

【例月出納検査報告】

現金・預金などの出納
状況が適正か、毎月監査
委員による「例月出納検
査」が実施されており、
代表監査委員から6月か
ら8月までの検査結果は
適正である旨の報告を受
け、了承しました。

その他議会活動の状況等

【行政視察来町対応】

	来町議会等名	調査項目等
8月25日 (水)	関東都県町村議会議 長会御一行	議会運営に関する事項 ほか
8月26日 (木)	上富良野町議会議会 広報特別委員会	議会広報の編集に関す る事項
10月27日 (水)	芽室町議会 総務常任委員会	図書館の指定管理者制度 に関する事項
10月28日 (木)	福島県西郷村議会 議会運営委員会	模擬議会、議会活性化の 取組に関する事項 ほか
11月18日 (木)	本別町議会 総務常任委員会	図書館の指定管理者制度 に関する事項

【平成22年度大空町防災訓練】

9月5日、いつ
発生するかもしれ
ない災害に備え、
東藻琴地区で大空
町防災訓練が行わ
れました。



【平成22年度女満別空港消防救難総合訓練】

9月10日、女満
別空港消防救難総
合訓練が実施され、
訓練の状況を視察
いたしました。



【秋の輸送繁忙期交通安全運動街頭啓発】

10月22日に行わ
れた『秋の輸送繁
忙期交通安全運動
街頭啓発』に議員
も参加し、交通安
全運動の呼びかけ
を行いました。



【第8回東京東藻琴会・第38回東京女満別会】

11月6日、東京都及び首都圏近郊に
在住されている旧町村出身、縁のある
方々による「東京東藻琴会（木田新治
会長）」並びに「東京女満別会（宇野
旭会長）」がそれぞれ開催され、本町
議会から後藤議長・田中副議長が参加
しました。

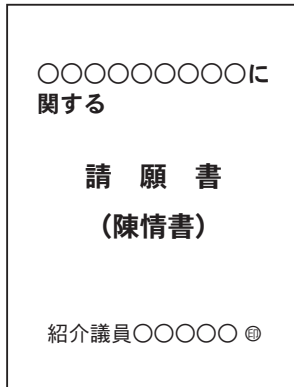
**【ポツシユ(株)女満別テクノカルセンター
テストコース拡張披露会】**

11月16日、ポツシユ(株)女満別テクノ
カルセンターテストコース拡張披露会
が行われ、新テストコースの完成を祝
福しました。

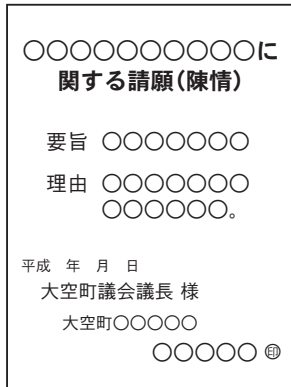
【全国町村議会議長会第54回全国大会】

11月17日、東京のNHKホールにて、
全国町村議会議長会第54回全国大会が
開催され、本町議会から後藤議長が参
加しました。

(表紙)



(内容)



※陳情には紹介議員は要りません。



【お問い合わせ先】

大空町議会事務局

TEL 74-2111(内線 265・266)

- 定例会及び臨時会の会議録は、両地区図書館で閲覧することができます。
- 議会ホームページからも会議録や議会だよりをダウンロードすることができます。
- 議会や議会だよりに関する御意見や御要望をお待ちしています。

● 町政を問う(一般質問4名) ●

●平成22年9月の第4回町議会定例会では、4名の議員から8項目の質問がありました。各議員の質問と理事者の答弁要旨をお知らせします。※紙面の都合上、質疑は要約していますので、詳細等は両地区図書館に備え付けの「会議録」を御覧ください。

子宮頸がんの予防について

中堀 君子 議員



1日も早いワクチン接種の助成を

議員 去る6月、第2回定例会において、ワクチン接種に関する要望意見書を満場一致で北海道知事に対して提出した。

近年、生活習慣病を抜いて、亡くなる人の多くはがんだそうであるが、その数あるがんの中でも子宮頸がんは唯一予防できるがんで、日本産婦人科学会などでは特に11歳から14歳の間にワクチン接種を勧めている。1回1万5,000円から2万円の注射代がかかり、3回接種する必要がある。子供を産む女性の体を守

ることは少子化対策にもつながり、国や北海道の決定を待つまでもなく、町長の勇気ある決断を持つて、町として早急に、1日も早くワクチン接種の助成に踏み切っていただきたい。

来年度の実施に向けしつかりした制度を構築

町長 町として来年度の実施に向け取り組みを進めたいということで、担当に指示をしている。町民の方や保護者、対象者の方々に保健指導や、その説明のあり方を考えていかなければならない。対象範囲や助成額・割合、事務の手続きなど整理しなければならぬ項目もあり、相談させていただきながら、しつかりとした制度となるように構築していきたい。

オホーツク圏で3カ所目を目指して

議員 非常に前向きにお答えいただいた。オホーツク圏にある町の中でも、全額負担でやっているところは2カ所くらいしかないので、ぜひその3カ所目になるように努力願いたい。

遅れをカバーする対象範囲に

町長 現在、大空町で対象となり得る世代の方々の人数を参考にお話すると、小学校では6年生39名、中学校では1年生43名、2年生34名、3年生39名、高校では1年生41名となっている。先ほど、来年度からという話をしたが、1年ほかの市町村から遅れることをカバーする対象範囲を考えていきたい。

女満別空港の駐車時間について

北海道に対して交渉を

議員 駐車場有料化に踏み出した当初は、2時間までただであったが、まもなく30分から有料になった。財団法人めまんべつ産業開発公社としても、北海道に対して借地代を支払い、駐車場整備代や人件費と物言いかわかるが、削るところは削る企業努力をし、町民の喜ぶようにしていただきたい。また、町としても

産業開発公社と連携して要請を行う

町長 平成19年4月から、無料を2時間から30分に変更した経緯がある。1時間まで無料にすると、約600万円減収という形になる。財団法人めまんべつ産業開発公社が初期設備投資を行っており、収入が減るといったことは経営悪化につながる。一方では、テナントの皆さんから窮状を訴えられている現状で、ビル会社やテナント料を減免している状況にもある。空港は交流拠点であり、地域経済に及ぼす影響も大きいと判断している。

北海道に支払う使用料のさらなる減免をお願いしたいという思いから、本年度についても二度ほど北海道に要請したが、明快な回答は得られてい



(女満別空港駐車場の様子)

ない。

財団法人めまんべつ産業開発公社と連携して、北海道に対し文書要請を行っている。

町民を挙げて応援する

議員 無料の時間が、2時間から30分になったことが、非常にひっかかっている。北海道に地代を安くしてもらい、せめて1時間まで無料になるように、町民を挙げて応援するのでもお願いしたい。

お願い

議長宛の案内文書については、事前に公務等の日程調整が必要となりますので、必ず議会事務局まで「持参」か「郵送」でお届けをお願いします。

送り先 ☎099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議会議長(大空町議会事務局) 宛

意見や後押しをいただき、要望していく。

町長 駐車場を利用される方々が、混雑して不便を感じていたということで、適切に管理するために有料化した。北海道、地元や御利用いただく方々が納得できるような料金体系を考え、工夫もしていかなければならない。関係する方々の御意見や町民皆さんの御意見、後押しをいただいでしっかりとしたものをつくり、北海道に要望していきたい。

教育行政について

齋藤 宏 司 議員



少人数学級化に対する考えは

議員 本町における少人数学級化に対する考えは、

一人一人に目が届く体制を

町長 教育の維持向上を図るため、学級編成や教職員の定数改善は極めて重要と認識している。

女満別小学校の1クラス35人を超える学級には、町単独事業で補助教諭を配置し、東藻琴小学校には加配教員が措置されている。

女満別中学校1年生では、北海道の少人数学級

研究事業の対象となつて、単年度ではあるが3クラス編成となっている。国の動向を待つのではなく、積極的に一人一人に目が届く体制をつくるため努力している。

教育長

文部科学省が「新公立義務教育諸学校教職員定数改善計画案」を発表した。段階的に小学校の1学級人数上限を40人から35人に、小学校1、2年生は30人に引き下げることであり、教職員を約1万9,000人増員しようとするものであるがまだ決定ではなく、状況を把握しながら適切な学校運営に対応していきたい。

来年度の事業継続は

議員 「3クラスになり、いい先生と生徒の関係になった。小学校とは

違つ道が開けたような気がする」とまで言い切つた女満別中学校1年生の親御さんもいらつした。

北海道の研究事業で、1年だけ3クラスということだったが、その中で来年度も前向きに考えていただけないか。

町費持ち出しでは厳しい

教育長 北海道の実践研究事業として、指導方法や継続性などそのあり方を研究する目的であり、来年度からは2学級体制に戻ることになっている。町長 来年度において今の形を町費持ち出しで投資をすることは、大変厳しい。

妥当な少人数学級は

議員 少人数学級は、

どのくらいが妥当なのか。

年齢によって違ってくる

教育長 国の定数改善計画案が発表された。よりの細かい指導のため、低学年児童ほど人数を少なめに成長を促すことが必要という方針と想われ、そのことからすると、年齢によって適正な

一回メモ (加配教員とは?)

- 児童・生徒数によって決まる各都道府県の教員定数に上乗せして、文部科学省が配置する教員で、少人数指導や不登校対策など、配置する目的が定められています。





全国学力テストの状況と課題は

議員 全国学力テストにおける本町の状況と今後の課題は。

効果の上がる方策を模索して取り組む

教育長 北海道の児童生徒の課題として、基本的な定着、学習習慣や生活習慣の確立、読書活動の充実などがあり、本町も同様の課題を抱えている。

学力と体力は一緒

議員 全国学力テスト上位の秋田県では、平成13年度から30人学級にし、「わか杉こ子学びの十カ条」というものをつくってその項目を毎月検証し、その中で上位をとっているかと思う。体力テストも行い、それを見ると学力と体力は一緒である。

生活リズムの確立が重要

教育長 秋田県などは早くから一部学年での30人学級実施など、先進的な取り組みに学校、保護者、地域が一体となり、着実に教育推進を図ってきたものと認識している。体力テストも本町の一部学年で実施したが、体力が成績に影響する調査結果が確かに出ている。生活リズムの確立が重要であり、その浸透に力を入れたい。

デジタル教科書の今後の対応は

議員 総務省は、20

15年度までにデジタル教科書利用の方針を発表した。きめ細かな授業ができる半面、整備コストが課題だが、町としてどのように把握し、今後対応する予定なのか。

情報収集に努める

教育長 導入に当たっては、国もモデル地域を指定し、指導方法の開発等、発達段階に応じた効果や影響を検証することになっている。

ノートをほとんど使わない授業で知識が定着するのかといった効果を疑問視する意見もあることから、デジタル教科書の効果や導入費用などの情報収集に努め、国、北海道の動向を注視したい。

電子黒板の効果は

議員 今年から電子黒板が導入されたが、どういった効果が出ているのか。

多彩な学習方法が可能に

教育長 コンピュータ

ーと接続した映像活用やワンタッチでの簡単な板書作業、保存して何度も提示が可能、英語では発音を繰り返すことができ、ビデオを接続して利用ができるなど、多彩な学習方法が可能となっている。

理想の学校教育

議員 国が進めるゆとり教育が、結局失敗であったと思う。デジタル教科書はテレビゲームのような世界で、子供たちの反応は早いかもしれないが、教職員がついていけない懸念がある。

先ほど言った小規模学級の中で学力も向上して先生とも会話して、生徒とも仲良く、そういう形が理想の学校教育ではないか。

町全体で取り組みたい

町長 少人数という環境の中で学級経営がいいのではないかと考えている。地域の中の学校なので、学校現場や教育関係者だけが行うのではなく、町全体として子供たちの基礎的な力を引き出す活動を推進し、生きる力を成長させる視点を持って、教育行政に取り組んでいきたい。

少人数学級の推進を

議員 少人数学級は予算的に厳しいと言われたが、町費を惜しまずにぜひ進めていただきたい。

現状を把握して適切な運営に努める

教育長 よりきめ細かな学校・学級運営のための少人数学級の大きな効果というものは十分理解しており、現状を十分把握しながら、適切な運営に努力を続けたい。



(女満別小学校新校舎)

指定管理者制度導入による成果と課題・ひまわり温泉とパークゴルフ場の施設について

品田 好博 議員



利用料収入の推移から見る業績判断は

議員 利用料収入の推移から見る業績判断は。

町長 ひまわり温泉について、販売額は直営時と比較すると増加しているが、平成19年度をピークに減少傾向で、分析不十分ではあるが、町内民間温泉施設の充実などが一つの原因かと受けとめている。

サービス向上に努めているか

議員 利用者のニーズに答えたサービスの向上に努めているか。

町長 ひまわり温泉では飲物、アイス等の販売

施設名称	平成18年度	※平成19年度	平成20年度	平成21年度
ひまわり温泉	845万3,000円	981万6,000円	954万6,000円	874万4,000円
パークゴルフ場	199万8,000円	200万4,000円	204万円	170万3,000円

【※町長答弁で説明のあった、ひまわり温泉及び朝日ヶ丘公園パークゴルフ場利用料収入に関連して、金額を表にしました。答弁では町長が口頭説明しております。会議録を御参照願います。(※平成19年度以降指定管理者制度導入)】

や、町内の園児などが書いたひまわりの絵を展示し、イメージを高めるような試みがされ、パークゴルフ場では、芝管理技術者が配置され、きめ細かな管理に当たっていた

上につながっているのではないか。

利用者の評価は

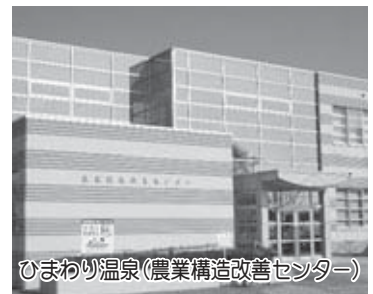
議員 利用者の評価は良好か。

町長 導入後の評価制度、モニタリングの制度設計が遅れており、先進事例など参考にしながら取り組みたい。

問題解決の取り組みは

議員 町民皆様の声を聞かせてもらうと、ひまわり温泉でカビが目立つ

床がぬるぬるする、ドライヤー故障中の張り紙がされたままである、適切な温度管理ができていないなど、そういうものも目立ってきている。担当者に床のメンテナンスや直すつもりがないならドライヤーを撤去するなど



ひまわり温泉(農業構造改善センター)

の努力を促したところ改善されていた。指定管理者との間で、問題等の解決に向けてどのような取り組みがなされているか。

町長 町と指定管理者との間には、協定に基づきさまざまな取り決めがあり、町担当者による施設の業務状況を確認や、緊急的な問題は早急に相互協議を行うなど、連携を密にして解決を図るようになっている。

駐車場拡大の検討を

議員 ひまわり温泉の弱点は、駐車場も含めてキャパシティが小さいことである。女満別老人福祉センター、女満別B&G海洋センターのために駐車場拡大を考

るのも大事ではないか。町長 公共施設が集中している中、非常に狭く大型車両なども入りづら

友好関係の中で客を引張る側面もある。大会開催が一番大変で、役員会などで使つのに1部屋欲しいのではないかと思つている。サービス業を賄つて

サービス業を賄っていいという考え方を

議員 パークゴルフ場の21年度利用料は170万円と激減しており、40%程度の値上げをして200万円弱という予想を立てられているが、実質的にはかなりの苦戦と解釈している。

もあつたよつである。そういったことがないようにしていただきたい。

コースに関しては特有の高低差、レイアウトの複雑さから施設設備の改善といっているが、それほど整備されていない。クラブハウスがないため受付はプレハブで、食事

の整備や草刈機等の収納場所など、今後考えていきたい。

や雨の日の待避所など、そういった施設が少ない。今ある屋根だけのスペースには草刈機が鎮座し、ベンチが追いやられているという不満を聞いている。関係団体の者が1番施設を利用し、リードして、その



朝日ヶ丘公園パークゴルフ場

特定健診の受診率アップの方策について

受診率の分析とフオー体制の成果は

議員 当町の総体受診率と年代別受診率から見る分析、健診結果に基づくフオー体制及びその成果は。

町長 大空町の受診率は、平成20年度目標30%に対して32・7%、平成21年度目標35%に対して36%である。

健診の結果、積極的・動機づけ支援準備とされる方々には、ライフスタイル改善プログラムに参加いただけており、検査データも改善している。早い段階で生活習慣改善に取り組むことが効果大と考えている。

受診率と料金の因果関係は

議員 受診率の向上と料金体系との因果関係について認識は。

町長 過去3カ年の健診未受診者にアンケート

調査を行い、受診しない理由を質問した。「健康だから必要ない」が1番多く23・1%、次に「日程が合わない」「忙しくて受診する暇がない」「検査されるのが苦痛」が12・2%、「料金が高い」という回答が3・1%であった。この結果から見ると、料金の高さが大きく影響しているものではないと感じている。

受診率アップの方策は

議員 受診率アップの方策について考えは。

町長 保健師や栄養士が、自分たちの使命ということを自覚して対応することが一つの方策だと考えている。

通院されている方の同意を得て特定健診該当検査結果項目を町に提供いただき、特定健診を受診したとみなして受診率アップにつなげるなど、そういう形の中で受診率をアップさせていきたい。

受診率アップの有効手段

議員 女性特有のがん検診で無料クーポン券が受診率を押し上げる効果はつきりしている。特典クーポン券を出したり1,000円で実施するというふうなことを年代の5歳刻みでやつたり、検査日を若干増やすことなどが受診率アップの有効手段になるのではないかと。

町長 女性特有のがん検診で、昨年20・25・30・35・40歳の方を対象に無料クーポン券を発行したところ、通常受診の方々と比べて倍ぐらいの受診率になった。そういった部分をこらえると、金額の影響もあるかと思う。どのような動機づけがいいのか、御指導いただきなから取り組んでいきたい。

議員 国は受診率アップのためにペナルティ制度なるものを考え、そういう目標があると真剣に考える。目標意識を持つことが一番大事である。政策の 프로모ーションを念頭においてやっていただきたい。

農業者個別所得補償制度について

松田 信行 議員



本町農業への影響と対応は

議員 農林水産省が2011年度予算概算要求をまとめて以降、個別所得補償制度本格実施に向け情報が交錯している。本格実施に向けての概要と現行制度との比較、本町農業への影響と行政対応は。

情報提供の機会を設ける

町長 販売価格が恒常的に生産額を下回る作物への差額交付や農業経営の安定などを目的としたものが、個別所得補償制度と言われている。制度変更に伴い、作物過剰生

産による販売価格低下などの恐れもあり、変動のある不透明な状況かと思っている。情報の推移を注視し、農業者の皆さんへ情報提供をする機会をつくりたい。

産地資金の身と農業再生協議会の位置づけは

議員 水田活用の所得補償交付金の中で、激変緩和枠を解消し、産地資金創設とあるが、その中身とそれを取り仕切る農業再生協議会についてどのようなメンバーでいつまでつくるのか。

産地資金影響の見極め、役割を考慮した構成に

町長 産地資金は、地域特産作物の振興などに向けた支援が目的と言われ、制度変更で減る交付金を補つものだが、どのような形が見当がつかない。

課題整理が必要

議員 この制度は、いかにスピーディに対応し、農業者に伝えるかが問われる。おほろげな制度だが、指標、輪作、所得確保のための新規作物など、出口政策が課題である。準備が必要ではないか。

対応できる心構えと準備を

町長 対応できる心構えと準備を

町長 早期の情報提供と対応を考えていきたい。今後も情報収集しながら、どのような形でも対応できる心構えと準備をしていく。

農業基盤整備について

基盤整備事業への今後の対応は

議員 効果的な基盤整備事業促進を図るため圃場条件にあった弾力的な整備、コスト削減、農家負担軽減が必要である。大空町で現在実施、要望されている基盤整備事業の進捗状況と今後の対応は

地域の要望に即して働きかける

町長 国営事業では、美幌町と大空町にまたがる美女地区で、排水路や排水機場の整備が、平成27年度まで予定されている。道営事業は基盤整備などが4地区で進められており、進捗率は平成22年度末の事業費へースで女



満別本郷地区が48%、女満別東部高台地区ほか4地域が8%、東藻琴西部地区が90%、藻琴山麓地区が49%と見込んでいる。新規要望も出されており、地域の要望に即して進められるよう、関係機関へ予算確保の働きかけを続けたい。

事業の継続性が必要

議員 基盤整備は大事であり、限られた予算でどこを優先するか、受益者とコミュニケーションをとりながら進めていきたい。

豊住地区で基盤整備事業のアンケート調査をしたところ、暗渠だけでも400を超える希望があ

った。的を絞った中でも多くの希望者が出てくることは、事業の継続性が必要なことを如実に証明していると思うが、町長のお考えは。

国の配慮を求める

町長 生産性をいかに高めるかが必要で、一定周期で行わなければならないものと受けとめている。暗渠排水や客土などは、機能回復のための土地基盤整備だということに前面に打出し、国としての配慮を訴えたい。

農業振興資金利子補給の対象にならないか

議員 基盤整備も生産性向上のための投資と考え、農業振興資金利子補給貸付対象事業にならないか。

意見聴取し、今後判断する

町長 町と農協とで利子補給をするという形で、さまざまメニューが決まっている。農協や地域の方々の意見を聞きながら、今後判断していきたい。

大空町組織機構改革について

大課制の取り組み詳細は

議員 大課制とグループ制の取り組み詳細と住民サービスの整合性、評価及び提示について伺う。

少ない職員でこれまで以上のサービスを

町長 少ない職員の中でこれまで以上のサービスを提供するため、職員の努力が必要である。同じ場所での用事が済むように、役場庁舎の1階で大部分の窓口対応ができる体制にしたり、業務内容に番号をふって掲示し、そこから案内する工夫もしている。

町民皆さんの評価は、職員の対応にかかっていると思っている。大きな課のメリットを生かせるように取り組んでいきたい。

共通認識が問題解決につながるのでは

議員 機構改革は、組織力を上げて問題解決ができるか、同じ共通グル

ープの中で共通認識を持つことが、職員の能力、組織力の向上につながる。問題解決にもつながるのではないか。

制度のメリットを生かせるように努力

町長 課の問題を、担当者だけではなく全体の問題として解決していくことが、組織運営で1番の目的になると思っている。制度のメリットを生かせるように努力したい。

人材育成の考え方は

議員 機構改革における人材育成への考え方、取り組み方は。

組織として育成する

町長 町民の役に立つ職員を組織として育て、多面的な才能を発揮できる職員になってもらいたい。そのために定期的な人事異動や人事考課に努めてきた。大課制も、職員の

能力を高める一つの手法ではないかと考えている。職員の能力をいかに引き出すか

議員 役場の職員は財産であり、職員の感性、情熱、能力をいかに引き出すかが、まちづくりにかかわると認識している。機構改革が住民のためであることを頭にこめて、取り組んでほしい。

町民のためになる職員、組織づくりに努力する

町長 町民・議員の方々と職員との間においても、何を考えているかわかり合えることが重要である。町民のためになる職員、組織をつくるべく、いかに努力したい。



(役場1Fフロアの様子)

議会・委員会活動レポート

●総務文教厚生・産業建設の両常任委員会、議会運営委員会や議会広報編集の各特別委員会などは閉会中も開催され、所管する事案に関する案件の協議や活動等を行っています。※主な内容をお知らせします。

総務文教厚生常任委員会

- (1) 第5回委員会(8/24)
 - ① 外郭団体等の会計事務取扱
 - ② 大空町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - ③ 公用車による交通事故報告
 - ④ 大空町生活安全条例の一部改正
 - ⑤ 認知症高齢者グループホーム防火設備整備事業
 - ⑥ 100歳以上高齢者の所在確認状況
 - (2) 第6回委員会(9/2)
 - ① 定住自立圏構想に係る中心市宣言
 - ② 過疎地域自立促進市町村計画の変更
 - ③ 公債費負担適正化計画の見直し
 - ④ トリム苑に係る施設用地に関する事項
 - ⑤ 女満別小学校備品の整備
 - ⑥ 大空町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書
 - ⑦ 教育文化合宿誘致実行委員会会計による不適切処理

- ⑧ 公用車物損事故の和解に関する専決処分
- ⑨ □座振替依頼書の再調査

- (3) 第7回委員会(9/16)

- ① ファミリーサポート事業
- ② 町有地の売払い
- ③ 要望意見書

- (4) 第8回委員会(10/1)

- ① ファミリーサポート事業
- ② 障がい者福祉施設耐震補強・改修工事実施設計委託業務の進捗状況

- ② 障がい者福祉施設耐震補強・改修工事実施設計委託業務の進捗状況



(余市町議会議場にて)

- (5) 道内行政視察(11/8~10) (月形町) 障害者の自立支援施設運営等 (余市町) 定住自立圏構想関係

- (小樽市) 障害者支援施設、障害福祉サービス事業等

- (札幌市) 老人福祉施設改修の状況等

- (6) 第9回委員会(11/12)
- ① 人事院勧告の取扱い
- ② 専決処分

- ③ 外郭団体等会計事務取扱改善に向けた取組状況
- ④ 町有地の売払い

- ⑤ 認知症高齢者グループホームスプリングラー等設備整備事業

- ⑥ 大空町児童遊園地設置条例の一部改正
- ⑦ 自家用電気工作物施設微量PCB検査結果
- ⑧ 収納体制及び納税状況
- ⑨ 大空町一般職の任期付学校教職員の採用に関する条例及び施行規則の制定

- ⑩ 大空町教育委員会職員勤務時間、休暇等に関する規則の一部改正

- ⑪ 学校の適正規模等に関する懇談会の開催状況
- ⑫ 要望意見書

- (7) 自家用電気工作物施設微量PCB検査結果
- (8) 収納体制及び納税状況

- (9) 大空町一般職の任期付学校教職員の採用に関する条例及び施行規則の制定

- (10) 大空町教育委員会職員勤務時間、休暇等に関する規則の一部改正

- (11) 学校の適正規模等に関する懇談会の開催状況
- (12) 要望意見書

産業建設常任委員会

- (1) 第5回委員会(8/24)
 - ① 外郭団体等の会計事務取扱
 - ② 「まちづくり住民懇談会」の発足
 - (2) 第6回委員会(8/31)
 - ① 昭和浄水場の修理
 - ② 乳酪館製品における大腸菌群の検出及びその対応
 - ③ 過疎地域自立促進市町村計画の変更
 - ④ 定住自立圏構想に係る中心市宣言
 - (3) 第7回委員会(9/16)
 - ① コーネ病患者の発生
 - ② 町道女満別昭和線道路整備事業の整備計画変更
 - ③ 要望意見書
 - (4) 道内行政視察(10/5~8) (南房総市)
 - ① 地域の活性化と道の駅整備事業等
 - ② 道の駅を中心とした観光、集客力向上対策
 - (東京都)
 - ① 東京青果株式会社訪問(大空町の農産物取り扱い状況等)
 - ② 稲城市表敬訪問・意見交換



(南房総市 道の駅にて)

- (株) ボツシユ(誘致企業) 訪問

- (5) 第8回委員会(11/12)
- ① 平成22年の高温多雨等による農作物被害状況及び災害対応資金支援
- ② 鳥インフルエンザに係る対応
- ③ 中山間地域等直接支払事業に関する事項
- ④ ジャガイモシストセンチュウに関する事項
- ⑤ 昭和配水池漏水調査結果
- ⑥ 要望意見書

- ① 平成22年の高温多雨等による農作物被害状況及び災害対応資金支援
- ② 鳥インフルエンザに係る対応
- ③ 中山間地域等直接支払事業に関する事項
- ④ ジャガイモシストセンチュウに関する事項
- ⑤ 昭和配水池漏水調査結果
- ⑥ 要望意見書

- ② 鳥インフルエンザに係る対応
- ③ 中山間地域等直接支払事業に関する事項
- ④ ジャガイモシストセンチュウに関する事項
- ⑤ 昭和配水池漏水調査結果
- ⑥ 要望意見書

- ③ 中山間地域等直接支払事業に関する事項
- ④ ジャガイモシストセンチュウに関する事項
- ⑤ 昭和配水池漏水調査結果
- ⑥ 要望意見書

- ④ ジャガイモシストセンチュウに関する事項
- ⑤ 昭和配水池漏水調査結果
- ⑥ 要望意見書

- ⑤ 昭和配水池漏水調査結果
- ⑥ 要望意見書

- ⑥ 要望意見書

視察調査報告書

産業建設常任委員会委員長

深川 昇

産業建設常任委員会は、平成22年10月5日から10月8日までの4日間、千葉県南房総市、東京大田市場、東京都稲城市、横浜市ボツシユ(株) シヤシーシステムコントロール事業部を訪問し、産業振興、農業関係市場情報の把握、企業誘致に関する情報収集、調査活動を行いましたので、その結果概要を報告します。

10月5日、南房総市役所で『第1回産業まつり開催経過等とプレミアム商品券発行の現状と効果』について研修しました。

温暖な気候を生かし、収益性の高いビフ、みかんなどの果実や花卉が生産されています。

旧町村で行われていた産業まつりは、各地域で有志等による自主開催とされていますが、合併後の第1回の産業まつりは、平成21年11月、一番人口が多い地域の産業まつりをベースに市全体で開催されました。地域振興対策として補助対象とされていますが、事業を継続する地区としない地区があり調整が必要とのこと、6町1村による合併の関係で苦慮されていると感じました。

平成18年3月20日に6町1村の合併によって発足した南房総市は、面積230.22km²で、海岸線では観光産業や漁業などが行われ、内陸部では

して30%のプレミアム付き商品券が発行され、小規模商店へ配慮しての大規模スーパーにおける利用制限付加や、発行を2回に分ける、地元特産品を副賞とした抽選会実施など購入意欲高揚の工夫も加え、地域それぞれの特長を生かしていると感じました。

10月6日、南房総市の道の駅で『道の駅を中心とした観光力、集客力向上対策』について調査研修しました。

『とみうら枇杷倶楽部(びわくらぶ)』は、平成5年11月にオープンした県内第1号の道の駅で、市が直営管理し、株式会社『とみうら』がテナントとして入居しています。株式会社『とみうら』

は、商品販売の営業活動やバスツアーなどの旅行企画を行うとともに、特産品のビフを加工し、商品開発を手掛けているという特色を持ち、人材確保にも力を入れていると感じました。

ビフを中心とした農業振興施設づくりが目的で、情報収集と議論を積み重ね道の駅の制度を活用して登録した経過があり、事業着手前のコンセプトと情報収集がいかに重要であるかを再認識しました。

南房総市千倉地区の道の駅『潮風王国』は、太平洋に臨みロケーションが大変良く、景観と新鮮な海産物が魅力で人気が高まっており、富山地区の『ハイウェイオアシス富楽里(ふらり)』は、一般道からも高速道路からも入れる道の駅で売り上げは市内一番、特に農産物の販売がかなり伸びているとのことでした。

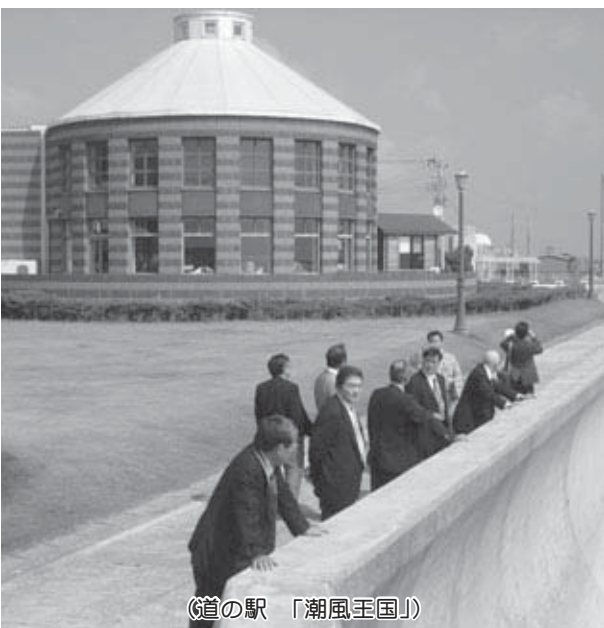
道の駅の連絡会を組織して情報共有し、それぞれ地域の特色を生かした道の駅で、一体化できる

事業は統合し、効果を高めるための検討も進められていました。「観光プロモーション課」の担当者の熱意も大変強く感じられ、道の駅を活用した地域振興が図られている状況を直に体験できました。

10月7日、東京都大田青果市場の見学と東京青果(株)において『北海道産野菜の市場評価、野菜産地への期待と今後の課題』について研修しました。

女満別産のブロッコリー、セロリ等の農産物は、虫食いも黄変もなく高い評価を受けている状況で、市場における産地への信頼は、出荷数量が安定していることが重要であり、数量が安定していれば契約も成立しやすく生産地のリスクも減るとのことでした。

北海道農業については、『連携ではなく連帯が必要ではないか。連帯には責任が付いてくる。』等示唆の多い話を伺うことができ、市場関係者から



(道の駅「潮風王国」)

の情報収集活動が必要であると実感しました。

同日、姉妹都市の東京都稲城市にて、『地域商業振興、商店街活性化の取り組み状況等』について調査研修を行いました。

商店街の状況は、他市町村と同様に高齢化と後継者不足、大型店舗との競争関係等に悩んでいる

このことで、平成21年度には商工会連合会と市が共同で『稲城市商業活性化プラン』を策定し、散策マップや一店逸品運動の取り組みなど、商店街の活性化を着実に進めようとする姿勢が感じられました。住民の要望や社会環境の変化に対応した行政施策の展開において、今後ともより一層自身の濃い情報交流をさせていただければと感じました。

10月8日、横浜市にあるボツシユ(株) シヤシユシステムコントロール事業部を訪問しました。『企業としての将来目標は、環境問題に配慮したエコ、クリーン、そして、

事故に遭わない、事故を起こさない、人を傷つけない、快適な自動車の開発である。究極は事故(死亡)を無くすことを目指している。』との説明は、社会貢献を目標としている企業であるとともに、ビジネスチャンスが広がっている企業であると感じられました。

地域進出企業として、今後、地域におけるイベントの開催を検討したいとの意向が伝えられました。さらに、テストコースのある町『大空町』に対するボツシユ社員の認識を今後さらに高めていく催しや、社員食堂で大空町の食材を利用したメニューを考えるように厨房の委託業者に指示しているとの話も伺い、地域進出企業と地元自治体との相互連携協力について意見交流を行いました。

道の駅構想の推進、地域商店街の振興策、企業誘致活動の推進においては、コンセプトをしっかりもち、情報を的確にと

らえ、人と人とのつながり、信頼関係の構築が必要であると再認識しました。

また、産地と消費者を結ぶ市場との関係においても、地域ブランドの確立や生産物の信頼度の向上対策として、地域における関係者相互の今日的課題に対して共通認識を持つ必要性も実感しました。

今回の視察調査で得た情報、知識を踏まえ、今後の町民生活の安定に向けた行政施策の展開や課題解決策を検討する委員会活動に生かしていきたいと思っております。



(東京大田市場 視察の様子)

総務文教厚生常任委員会

視察調査報告書

総務文教厚生常任委員会委員長

近藤 哲雄

総務文教厚生常任委員会は、11月8日から10日までの3日間で、今後の取り組みとして検討している『福祉政策』と『定住自立圏構想』を研修課題に調査活動を行いましたので、その結果概要を報告いたします。

福祉分野については、平成18年に『障害者自立支援法』が成立したところでありますが、大空町の現状では、障害がある人の生活支援を行うような拠点施設は、まだありません。

そうした中、旧東藻琴国民健康保険診療所施設を活用し、障害のある人と地域住民とのコミュニティを図りながら、生活支援を行う拠点施設として整備を進めていくこと

している点から、先進的な取り組みを行っている福祉法人を視察しました。

月形町にある障害者支援施設『社会福祉法人「雪の聖母園」』では、入所支援、生活介護、就労支援やそれぞれに構造、コンセプトの違う6カ所のグループホーム、ケアホームなど、幅広い事業展開が行われていました。

特に、視察の重点ともなっていた遊休施設の活用について、廃校となった小学校を活用している就労支援センターでは、月に1万5,000パックの納豆の製造、給食センターの廃油を利用した石鹸づくりなど、それぞれの状態に応じて一生懸命に働く姿が見てとれました。

また、管理者の『福祉とは「愛」です。』という



(「和光学園」視察の様子)

会の中、一人一人の人間としての「しあわせ」が図られることをビジョンとし、入所支援、生活支援や就労支援事業など多くの事業に取り組んでいました。

私たちが訪れたときには、時間を延長して下請け作業に取り組んでいる就労継続支援の様子や、園芸班、ガラス工芸班、製パン班などに分かれて日中活動をしている様子などを拝見しました。障害の有無に関係なく人間としての欲求は変わらざるその満足度に応えているかとの観点から、援助する職員を中心とした体制づくりにも重点がおかれていました。

老人福祉施設の運営、改修というテーマで、札幌市にある『特別養護老人ホーム「緑愛園」』を視察しました。平成2年に開設され、20年余りが経過したこの施設の改修工事が、昨年5月から行われました。

この工事で行われたことは、

①フロアー単位ではな

く、少人数でのケア体制を形成できるようにした。

②1カ所しかなかった浴室を各階に設け、大きさを1名対応の浴室にした。

③各ユニットに居間を2カ所設け、居住者がくつろぐ場所を選択できるようにした。

④共有スペースを拡大し、パブリックスペースを充実させた。

改修後のさらなる課題として、トイレや洗面所の狭さ、労働者の安定的な人材確保、さらには職員の意識の徹底、スキルアップなどが挙げられていました。

これからの高齢者福祉は、国の制度、施策の展開により、法人としても進むべき方向性に柔軟な発想が求められることでしょう。

や行政などが一丸となり、利用するお年寄りや御家族の満足度がさらに高められるような支援の必要性を改めて感じたところです。

もう一つの視察項目である定住自立圏構想に関する調査のため、余市町を訪問しました。

ことしの9月、網走市が定住自立圏にかかると『中心市宣言』をしましたが、定住自立圏構想とは、都市機能を有する市と近接する周辺市町村とが相互に連携し、役割を分担しながら暮らしに必要な機能を確保していくための広域行政の取り組みです。

平成21年9月5日の小樽市の中心市宣言を受けて、余市町、仁木町、古平町、積丹町、赤井川村の6市町村において『北しりべし定住自立圏』を形成しているところです。

医療、産業振興、教育など生活機能の強化にかかわる政策の分野、地域公共交通、インフラ整備な

どの結びつきやネットワークの強化にかかわる政策の分野、人材の育成や職員の能力向上など圏域マネジメント能力の強化にかかわる政策の分野という三つの視点から協定を締結してしました。現在は、これらの具体的な取り組みを示す『共生ビジョン』が、間もなく策定されるという段階でした。

この構想には、各市町村へ1,000万円の支援措置があります。今回の研修をとおして得たものを今後、大空町の実情と照らし合わせて中参考にしていきたいと考えているところです。



(「雪の聖母園」のグループホーム)

議員研修会

去る10月21日、清里町において「北網ブロック町議会議員研修会」が開催され、本町議会から10人の議員が参加いたしました。

北海道町村議会議長会の勢旗了三事務局長から「議会改革と議会の諸相」との演題で、議会改革のポイントや現在の地方議会を取り巻く情勢などの講演をいただきました。



臨時会の議案と質疑

●平成22年第3回臨時町議会は、8月27日の1日間の会期で開かれ、以下の町提出案件が決まりました。

※質疑と答弁は、概要掲載です。詳細は、会議録を御覧ください。

組織一丸となつて 再発防止に努力を!

条例等案件

【町長の給料を2カ月減給】

町職員が、農業担い手育成センターの結婚祝い金等の準公金を一部着服した事件に伴い、町長に支給する9月分・10月分の給料を216,000円減じることとして『大空町特別職の給与に関する条例』が改正されました。

準公金

農業担い手育成センターなどの外郭団体運営費(会計)の中に、町から交付された負担金や補助金(＝公金)が含まれている場合、その運営費(会計)を「準公金」と位置付けています。

質疑と答弁

勝田議員 町長の言葉に「不祥事を起こした職員を救えなかった」とあった。職場で何でも相談できる雰囲気づくりが大事ではないかと思うが、どのようにお考えか。

町長 十分なコミュニケーションをとれるまで

至っていないといった反省もある。今後、何でも相談できる職場環境づくりについて、職員ともいろいろ話をしてみたいと思う。

中堀議員 今後どのようにしていくかが、非常に見えにくい気がする。どうすればこういった案件が起きなくなるのか、お考えを伺いたい。

町長 今回の事件が発覚して、各団体の皆様に職員側から投げかけをさせていただき、町の職員が行ってきた会計処理を、団体で行うことで話し合いが調ったものもある。諸事情により当分の間、町として会計を引き受けなければならぬものについては、会計の処理方法・チェック体制などを整理して再発防止に努力していきたい。

品田議員 今般の事件は、大変シビアな結果となつたが、町民皆様からは状況をいいた実に温かい声が、少なからずあったと認識している。町長は、そういったことを肌で感じ、自らを処断したものと理解しているがよろしいか。

また、副町長の認識もお聞きしたい。

町長 まちづくりの根幹は、町民・議員皆様と行政との信頼関係がなければ成り立たず、信頼関係をつくり直すためにしっかりと考えた方を持って皆様は説明実践していかなければならぬものと考えている。

副町長 一生懸命職員とコミュニケーションをとりながら、このよう

なことが起きないように頑張っていきたい。

小島議員 外郭団体の仕事は、準公金と同じように準公務扱いなのか

この問題は、単に町長みずから処分を課したことで終わる問題ではない。町政執行上、公務かそうでないかの整理、政策としての効果も含め、よく考えて進めていただきたい。

町長 再発防止に向けた取り組み、実践をしっかりとしていなければならぬ。会計事務の取扱いについては各団体と真剣に話をし、公務か公務でないかという判断は、整理の仕事がうまくつけられるか考えてみたい。

その後の経過

職員による準公金の着服という事件発覚後、町として外郭団体等会計の事務処理方法、管理のあり方などを見直し、適正な事務執行がされるよう改善策を講じております。今後、同様の事件が起きないよう、再発防止に向けて一層の努力を期待します。

予算案件

【人件費減額補正分を財政調整基金へ積立】

職員の不祥事に伴う処分に関連して職員給与費を減額(支出額△544万5,000円)し、そ

人事等案件

【固定資産評価員の選任同意】

町長の指揮命令を受けて固定資産を適正に評価し、町長が行う価格の決定を補助するために設置される『固定資産評価員』について、高橋晃氏(大空町住民課長)を選任することに同意しました。



一般案件

【物品(除雪トラック)の購入】

使用していた除雪トラックが老朽化したことにより、除雪トラックを新規購入することについて可決しました。

要 望 意 見 書

①義務教育費国庫負担制度堅持、負担率2分の1への復元、教職員定数改善、就学保障充実など2011年度国庫予算編成における教育予算確保・拡充を求める要望意見書

- 1 義務教育費国庫負担制度の堅持と、負担率を2分の1に復元すること。
- 2 30人以下学級と教職員定数の改善を早期に実行するとともに、学校教育法第37条第3項を削除し、行き届いた教職員配置を実現すること。
- 3 給食費、修学旅行費、教材費など保護者負担の解消、就学保障の充実や学校施設整備、図書費など、国の責任において教育予算の十分な確保、拡充を行うこと。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
 総務大臣 片山 善博 財務大臣 野田 佳彦 文部科学大臣 高木 義明

②B型肝炎問題の早期全面解決を求める要望意見書

- 1 B型肝炎訴訟を全面的に解決する方策を早期に示し、一日も早く和解を実現させること。
- 2 肝炎患者にとって、経済的負担の心配がない医療費助成制度の整備を進めること。
- 3 肝炎患者に対する差別、偏見をなくすため、正しい知識の啓発活動を進めること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
 財務大臣 野田 佳彦 厚生労働大臣 細川 律夫

③道路の整備に関する要望意見書

- 1 高規格幹線道路ネットワークの早期形成を図るため、整備中区間の早期供用を図るとともに、抜本的見直し区間の未着手区間や基本計画区間などについて、早期の事業化を図ること。
- 2 高度成長期に整備され老朽化した道路施設の長寿命化に係る費用に対する支援の拡充を図ること。
- 3 冬期交通における安全性の確保、交通事故対策、自然災害時の交通機能の確保など、地域の暮らしを支える道路の整備及び維持に必要な予算額を確保すること。
- 4 平成23年度から段階的に実施するとされている一括交付金の制度設計の際には、道路整備に関する地域の様々な課題に対応できるように制度を充実するとともに、必要な予算額を確保すること。
- 5 事業評価に当たっては、地域からの提案を反映させるなど、救急医療、観光、災害対策など、地域にもたらされる多様な効果を考慮し、総合的な事業評価手法となるよう検討すること。
- 6 地方の財政負担の軽減に資する地方道路整備臨時貸付金制度の維持・拡充を図ること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
 総務大臣 片山 善博 財務大臣 野田 佳彦 国土交通大臣 馬淵 澄夫

④森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する要望意見書

- 1 地球温暖化防止・森林吸収源対策を推進するための安定的な財源措置の確保、及び森林所有者の植林意欲を高めるための負担軽減措置等による森林経営対策を推進すること。
- 2 水源のかん養など森林の有する公益的機能の重要性を踏まえ、森林の取扱いに関する所有者の責務を明確化するとともに、大面積皆伐の抑制や伐採後に確実に植林する仕組みを構築すること。
- 3 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の制定を踏まえ、低炭素社会の実現に着目した公共建築物や住宅建設等における木材利用の促進、及び木質バイオマス利用など国産材の利用を拡大すること。
- 4 持続可能な森林・林業の確立に向けて、森林計画の作成や施業の集約化を担う人材、及び現場事業の担い手などの育成確保を図るとともに、森林整備に要する経費の定額助成を実施すること。
- 5 国民共有の財産である国有林については、公益的機能の一層の維持増進を図るとともに、森林・林業政策の推進に貢献するため、国による一体的な管理運営体制を確立すること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
 財務大臣 野田 佳彦 農林水産大臣 鹿野 道彦 国土交通大臣 馬淵 澄夫
 文部科学大臣 高木 義明 経済産業大臣 大島 章宏

編集後記

冬の足音が聞こえてきました。今日この頃ですが、町民の皆様におかれましては、冬支度においそがしい毎日と存じます。

ついこの間までの厳しい暑さはどこへ行ったのでしょうか。まずまず、冬に向けてお体を大切にいたしましょう。私も、議会へ出させていただいて8カ月が過ぎました。一年生議員とはいえ一番年齢が上で、同僚議員の足を引っ張らないよう、町民皆様と行政をつなぐパイプ役を勤めてまいります。

さて、前口上が長くなりましたが、去る8月、札幌市で議会広報研修会が開かれ、議会広報編集特別委員会委員長と私、そして議会事務局職員とで勉強をいたしました。議会広報誌の改革など、住民にわかりやすい議会だよりをつくりなさいということ、私は理解してまいりました。今回の広報誌から、少し変わってきたと思いませんか。議会がより親しみやすく、町民の皆様にご理解をいただけますように、研修の結果を出せるようがんばってまいります。

寒い冬を元気で乗り越えてください。すようお祈りを申し上げます。

議会広報編集特別委員会
 副委員長 中堀 君子